

農業と環境（水稻栽培）

苗の準備

播種（はしゅ）

① 育苗器の準備

育苗器を組み立て、底面ヒーターと水蒸気発生器に水を入れておく。

※ 育苗器は、播種した苗箱を入れて発芽促進をする機械である。底面ヒーターで任意の温度にすることが出来、水蒸気発生器から発生した水蒸気で給水を行うことが出来る。清流高校では、30℃で湿度を高く調整し、3～4日で発芽するようにさせている。



② 播種機の準備

播種機を組み立て、調整作業を行う。均等に行えるように水平になるように据え付ける。

※ 播種機は、苗箱に床土を入れ、土壤消毒を行い、種もみを均一に播き、覆土までの工程を一度に行ってくれる機械である。苗箱一つを30秒程度で完成させる。



②-1 苗箱洗浄

苗箱を洗浄し、余計な菌が繁殖しないようにする。播種機で消毒も行うが、前段階でも洗浄しましょう。



②-2 播種機用消毒薬準備

播種機で自動散布する土壤消毒剤を任意の濃度で希釈し作る。

※ 今回は ダコレート（薬剤）1袋(1Kg)を水13Lで希釈し、散布圧力は0.04Kパスカルで実施した。圧力や濃度は機械により違います。



②-3 種もみの準備

浸種でしっかりと水分を含んだ種もみを脱水機で脱水し、軽く乾燥させる。水分が多すぎると、機械に詰まってしまうことがあるの注意しましょう。

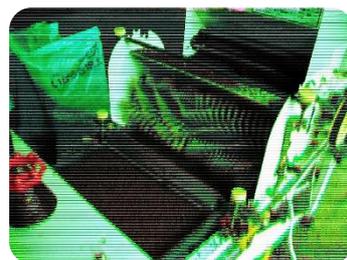
③ 播種 播種機を動かす。(動き方は 右から左に 流れます)



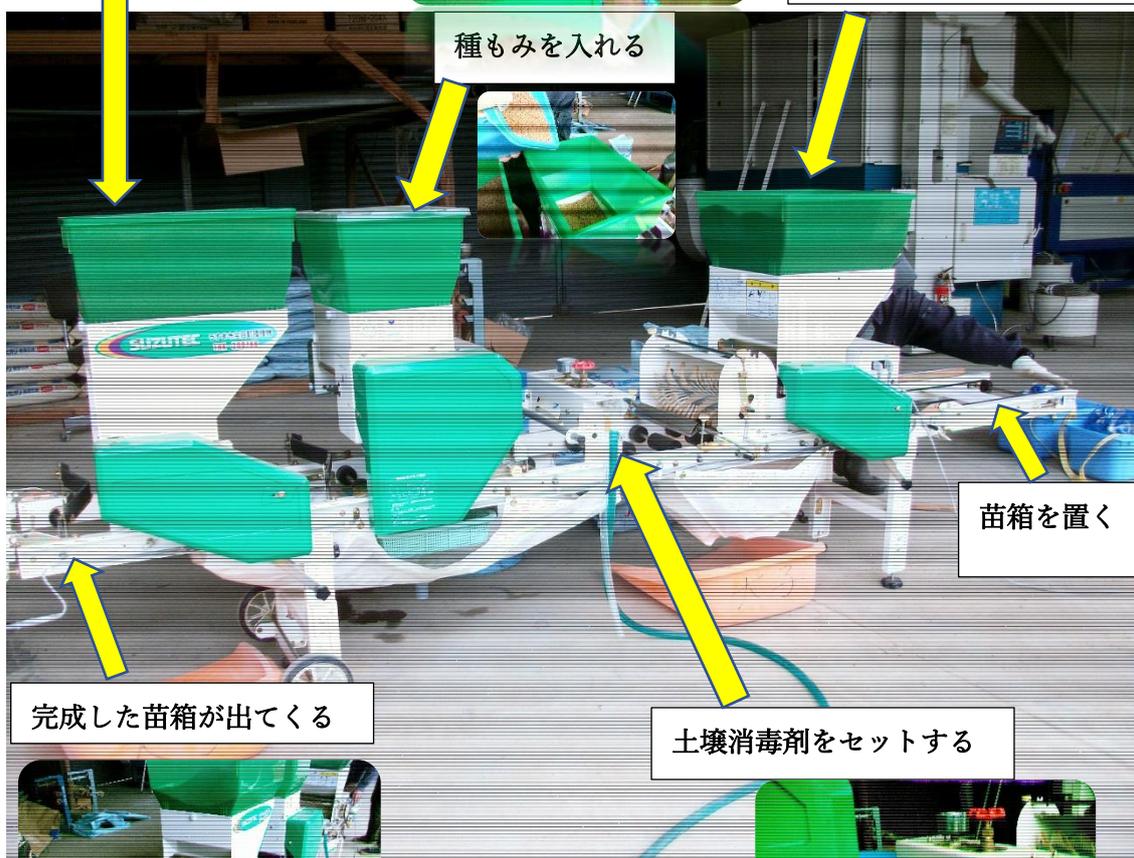
覆土(粒状倍土)を入れる



種もみを入れる



床土(粒状倍土)を入れる



苗箱を置く

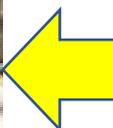
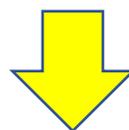
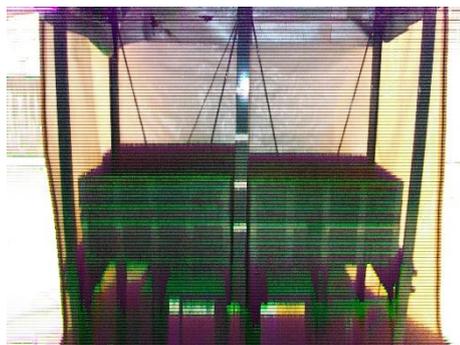
完成した苗箱が出てくる

土壌消毒剤をセットする



④ 育苗器に搬入

完成した育苗箱を育苗器に一つ一つ重ねて丁寧に置く。均一に播種したものが寄らないように移動する。



育苗器内温度を30℃に設定し発芽を待つ。